

日本版DMO形成・確立計画

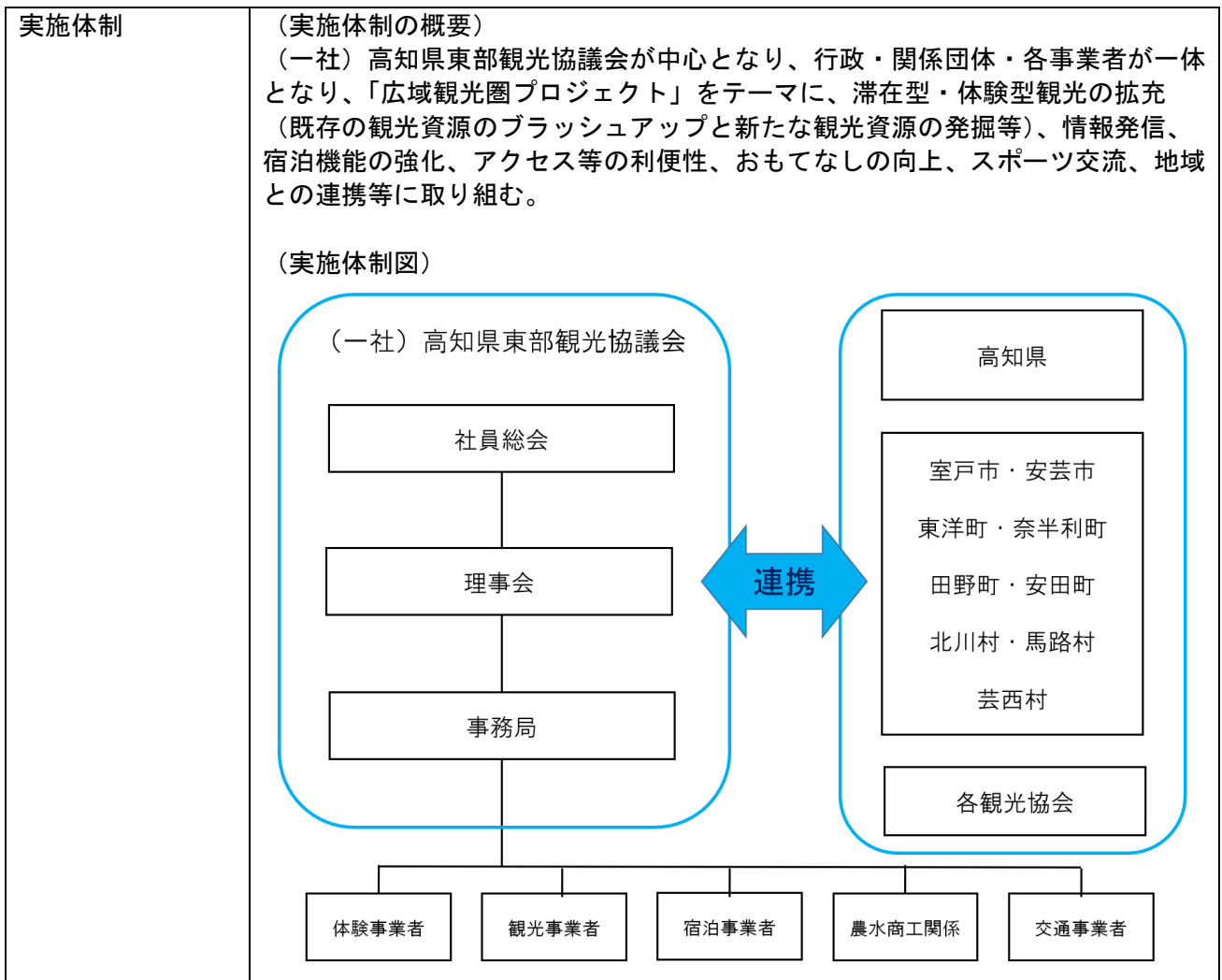
1. 日本版DMOの組織

申請区分	地域連携DMO	
日本版DMO候補法人の名称	一般社団法人 高知県東部観光協議会	
マーケティング・マネジメント対象とする区域	高知県室戸市、安芸市、東洋町、奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村、芸西村	
所在地	高知県安芸市	
設立時期	平成 28 年 2 月 26 日	
職員数	6 人(正職員 3 人+県派遣職員 1 人+市町村派遣職員 1 人+臨時職員 1 人)	
代表者(トップ人材:法人の取組について対外的に最終的に責任を負う者)	(氏名) 横山 幾夫 (出身組織名) 安芸市長	9 市町村で構成する安芸広域市町村事務組合の管理者や東部地域の各種組織の長を兼任し、9 市町村及び各関係機関を取りまとめる組織の中核としてパイプ役を担う。
各種データの分析・収集等(マーケティング)の責任者(専門人材)	(氏名) 種田 智加 「専従」 (出身組織名) 高知県庁	高知県の地域支援企画員(総括)として仁淀川地域に 2 年駐在した際に中山間地域の観光振興及び移住促進等の地域振興に携わり、その後約 1 年間東部地域の観光振興に努める。
各部門(プロモーション及び旅行商品の造成・販売)の責任者(専門人材)	(氏名) 佐々木 博司 (出身組織名) (一社)高知県東部観光協議会 プロパー職員	旅行会社での旅行販売に長年従事。セールス・プロモーションに高い能力を持ち、多数の商品を取り扱う中で得た知識・経験を生かし、企画・造成・販売を行う。総合旅行業務取扱管理者。総合旅行業務取扱管理者。
連携する地方公共団体の担当部署名及び役割	<ul style="list-style-type: none"> ◆高知県観光振興部地域観光課(広域観光の推進・支援) ◆室戸市観光ジオパーク推進課(地域づくり・地域資源を活かした観光素材の発掘・磨き上げ・旅行商品づくり、地域ネットワークづくり、財政支援) ◆安芸市商工観光水産課(〃) ◆東洋町産業建設課(〃) ◆奈半利町地域振興課(〃) ◆田野町まちづくり推進課(〃) ◆安田町地域創生課(〃) ◆北川村産業課(〃) ◆馬路村産業建設課(〃) ◆芸西村企画振興課(〃) 	
連携する事業者名及び役割	<ul style="list-style-type: none"> (一社)室戸市観光協会(地域づくり・地域資源を活かした観光素材の発掘・磨き上げ・旅行商品づくり、地域ネットワークづくり) (一社)安芸市観光協会(〃) (一社)東洋町観光振興協会(〃) 北川村観光協会(〃) 	

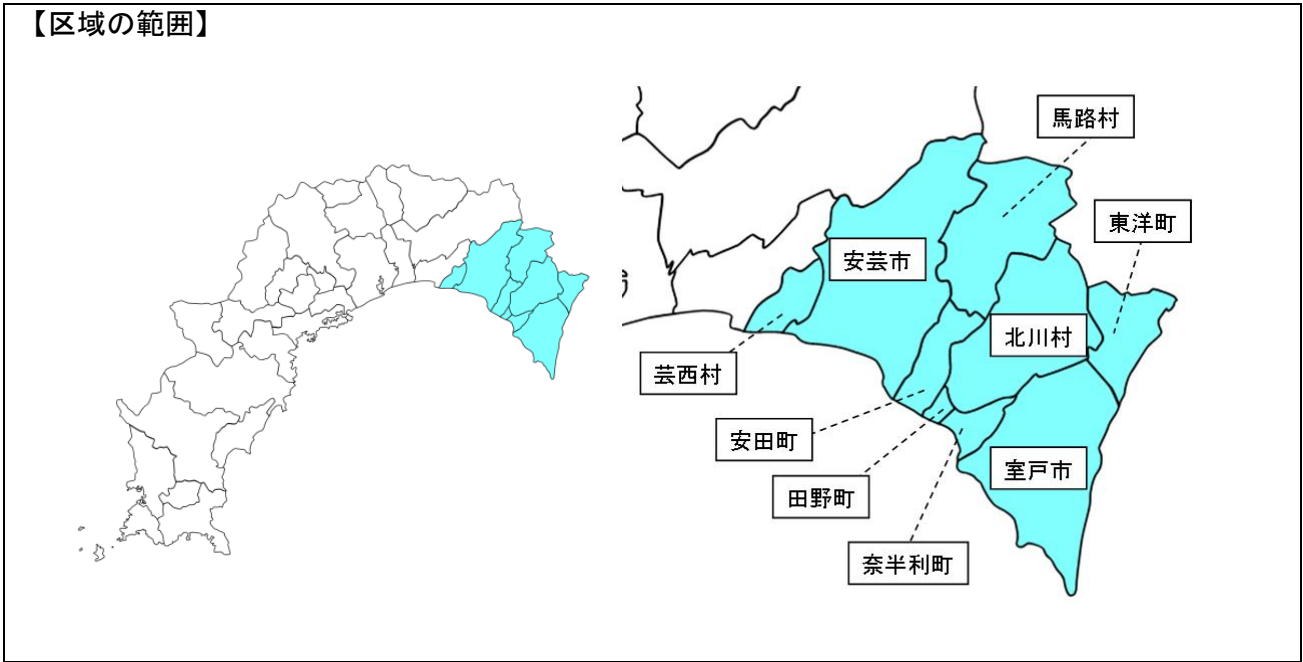
(別添) 様式 1

	<p>◆体験事業者 (地域資源を活かした観光素材の発掘・磨き上げ・旅行商品づくり、地域ネットワークづくり)</p> <p>◆観光事業者 (〃)</p> <p>◆交通事業者 (〃)</p> <p>◆宿泊事業者 (〃)</p> <p>◆体験事業者 (〃)</p> <p>◆農水商工関係 (〃)</p>																														
<p>官民・産業間・地域間との持続可能な連携を図るための合意形成の仕組み</p>	<p>(該当する要件)</p> <p>②日本版DMOの組織内に行政や関係団体をメンバーとするワーキンググループなどの委員会等を設置すること</p> <p>(概要)</p> <p>9市町村の横断的な観光連携を通じて、「地域課題を解決すること」「新たな地域ビジネスを創出すること」を両立させるために、コアメンバーを対象にしたテーマ別ワーキンググループを定期的で開催し、情報共有のみならず、9市町村・事業者・地域が連携して戦略を取り組む機会を創出していく。</p>																														
<p>地域住民に対する観光地域づくりに関する意識啓発・参画促進の取組</p>	<p>観光による地域づくり活動のブラッシュアップをするために、主に地域の若手事業経営者を集めた、将来的な地域の未来を考えるセミナーやワークショップの開催への取り組み→民泊及び体験等教育旅行の受入研修の実施</p>																														
<p>法人のこれまでの活動実績</p>	<p>(活動の概要)</p> <p>平成 28 年 2 月、高知県東部地域 9 市町村と高知県により広域観光組織「(一社)高知県東部観光協議会」を設立。地域の観光戦略づくりや情報発信、受入体制の整備や人材の育成、観光商品の造成・販売、体験プログラムの磨き上げ、民泊の推進等による誘客を進めており、交流人口の拡大による地域経済の活性化を図る。</p> <p>(定量的な評価)</p> <p>◆「安芸・室戸パシフィックライド」参加者数(サイクルスポーツイベント)</p> <table border="1" data-bbox="421 1189 1350 1485"> <thead> <tr> <th>開催年度</th> <th>参加者数</th> <th>対前年比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成 27 年(第 1 回)</td> <td>427</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>平成 28 年(第 2 回)</td> <td>382</td> <td>89.5%</td> </tr> <tr> <td>平成 29 年(第 3 回)</td> <td>407</td> <td>106.5%</td> </tr> <tr> <td>平成 30 年(第 4 回)</td> <td>444</td> <td>109.1%</td> </tr> <tr> <td>令和 元年(第 5 回)</td> <td>514</td> <td>115.8%</td> </tr> </tbody> </table> <p>◆観光施設、体験プログラム、直販所等の入込客数</p> <table border="1" data-bbox="421 1536 1350 1731"> <thead> <tr> <th>実績</th> <th>人</th> <th>対前年比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成 28 年</td> <td>2,343,600</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>平成 29 年</td> <td>2,330,806</td> <td>99.5%</td> </tr> <tr> <td>平成 30 年</td> <td>2,454,671</td> <td>105.3%</td> </tr> </tbody> </table>	開催年度	参加者数	対前年比	平成 27 年(第 1 回)	427	-	平成 28 年(第 2 回)	382	89.5%	平成 29 年(第 3 回)	407	106.5%	平成 30 年(第 4 回)	444	109.1%	令和 元年(第 5 回)	514	115.8%	実績	人	対前年比	平成 28 年	2,343,600	-	平成 29 年	2,330,806	99.5%	平成 30 年	2,454,671	105.3%
開催年度	参加者数	対前年比																													
平成 27 年(第 1 回)	427	-																													
平成 28 年(第 2 回)	382	89.5%																													
平成 29 年(第 3 回)	407	106.5%																													
平成 30 年(第 4 回)	444	109.1%																													
令和 元年(第 5 回)	514	115.8%																													
実績	人	対前年比																													
平成 28 年	2,343,600	-																													
平成 29 年	2,330,806	99.5%																													
平成 30 年	2,454,671	105.3%																													

(別添) 様式 1



2. 日本版DMO候補法人がマーケティング・マネジメントする区域



(別添) 様式 1

【区域設定の考え方】

平成 28 年 2 月に高知県東部地域を構成する 9 市町村及び高知県により（一社）高知県東部観光協議会を設立。平成 29 年 2 月に旅行業（第 2 種）登録を行い、高知県東部地域への誘客と周遊促進等による地域経済活性化に取り組んでおり、高知県産業振興計画とも連動している。また、各事業の推進については、行政・事業者等が連携して決定し、検証する仕組みが既にできている。観光資源の面からみてもコンセプトとして共通する点が多く、当該市町村で連携した区域設定とするのが適切である。具体的な方策については、マーケティングに基づく戦略の策定と実行、さらに情報発信により地域の知名度向上とブランディング、そして滞在型・体験型観光の提供により、平成 33 年度の観光消費額 63 億円、入込客数 2,765,000 人を目指す。

【観光客の実態等】

平成 30 年度の観光施設・体験プログラム・直販所等の入込客数は 2,454,671 人（対前年比 105.3%）となり、平成 30 年 4 月に開館した「むろと廃校水族館」の反響に伴い、東部地域全域への波及効果があり、平成 30 年度入込客数は増加した。

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
観光施設・体験プログラム・直販所等の入込客数	2,343,600 人	2,330,806 人	2,454,671 人

【観光資源：観光施設、自然、史跡、文化、体験、イベント等】

市町村	観光施設・拠点	自然・史跡・文化	体験・イベント
室戸市	室戸世界ジオパークセンター、室戸ドルフィンセンター、シレストむろと、むろと廃校水族館、室戸岬灯台、室戸スカイライン、乱礁遊歩道、道の駅キラメッセ室戸、海の駅とろむ	室戸岬、室戸岬亜熱帯性樹林及海岸植物群落、室戸ユネスコ世界ジオパーク、室戸市吉良川町伝統的建造物群保存地区、最御崎寺、津照寺、金剛頂寺、御厨人窟、吉良川の御田祭、野根山街道、柚子	ウミガメ調査隊（ウミガメ調査&放流体験）、アオノリ収穫体験、土佐備長炭作り体験、サツマイモの収穫・焼き芋づくり、樹齢千年を越す天然杉のある森を歩くガイドツアー、イルカ体験プログラム、吉良川の町並み散策ガイド、ジオパークガイド、安芸・室戸パシフィックライド、室戸ジオパークトライアスロン、土佐の町家 ひなまつり
安芸市	岩崎彌太郎生家、土居廓中、野良時計、内原野陶芸館・ガラス工房、安芸市立歴史民俗資料館、安芸市観光情報センター、安芸市立書道美術館、安芸駅ちばさん市場、道の駅大山、廓中ふるさと館	大山岬、伊尾木洞のシダ群落、安芸市土居廓中伝統的建造物群保存地区、妙山寺、赤野獅子舞、入河内獅子舞、日本酒蔵、柚子	陶芸体験、とんぼ玉づくり体験、舟釣り体験、伊尾木洞ガイド「伊尾木洞のふしぎ発見」、安芸町並みガイド、安芸・室戸パシフィックライド、土佐の町家 ひなまつり

(別添) 様式 1

東洋町	生見サーフィンビーチ、白浜海水浴場、白浜キャンプ場、大斗沈下橋、春日神社と千年杉、海の駅東洋町	白浜海岸、生見海岸、野根川、サンゴ、牛ヶ石・馬ヶ石、野根山街道、流鏝馬、柚子	サーフィン、スタンド・アップ・パドルボード、シュノーケリング、ダイビング、田舎体験こけら寿司作り体験、農業体験(お米、にんにくづくり)、川エビ漁体験、定置網漁体験、野根川リバーウォーク、安芸・室戸パシフィックライド
奈半利町	藤村製絲記念館、海辺の自然学校、米ヶ岡生活体験学校、物産館「無花果」、奈半利のおかって	旧魚梁瀬森林鉄道施設、サンゴ、奈半利川、琵琶ヶ滝、濱田家住宅、竹崎家住宅、藤村製絲株式会社倉庫、高札場、野根山街道、柚子	シーカヤック、シュノーケリング、バナナボート、サンゴウォッチング、奈半利の町並み散策ガイド、安芸・室戸パシフィックライド、土佐の町家 ひなまつり
田野町	岡御殿、浜口雄幸旧邸、清岡道之助旧邸、郡奉行所跡、旧岡家住宅(西の岡邸)、二十三士公園、臥竜梅、田野町完全天日塩製塩体験施設、道の駅田野駅屋	旧魚梁瀬森林鉄道施設、奈半利川、大野台地、濱川商店酒蔵、福田寺野根山二十三士墓所、田野学館跡、日本酒蔵、柚子	完全天日塩作り体験、大野台地農業体験、田野案内人「賛」、安芸・室戸パシフィックライド、土佐の町家 ひなまつり
安田町	安田まちなみ交流館「和」、安田川アユおどる清流キャンプ場、大心劇場、神峯山・空と海の展望公園、安田川ほたるの里河川公園、輝るぼーと安田、味工房じねん	旧魚梁瀬森林鉄道施設、安田川、大野台地、釜ヶ谷の滝、神峯寺、北寺、乗光寺、西岡家住宅、軍鶏闘鶏場、日本酒蔵、柚子	唐浜化石発掘体験、染め物体験、田舎料理作り体験、安芸・室戸パシフィックライド、土佐の町家 ひなまつり
北川村	北川村「モネの庭」マルモッタン、中岡慎太郎館、中岡慎太郎生家、北川村温泉ゆずの宿	旧魚梁瀬森林鉄道施設、奈半利川、不動の滝、小川川甌穴岩群、宿屋杉、岩佐の関所跡、野根山街道、星神社のお弓祭り、柚子	モネの庭見学&押し花小物作り、安芸・室戸パシフィックライド、土佐の町家 ひなまつり
馬路村	森林鉄道インクライン、馬路森林鉄道、魚梁瀬森林公園(オートキャンプ場)、馬路温泉、千本山展望台、馬路村農協ゆずの森加工場、まかいちよって家	旧魚梁瀬森林鉄道施設、魚梁瀬杉、安田川、奈半利川、相名の棚田、千本山、朝日出山の大杉、金林寺、柚子	魚梁瀬森林鉄道乗車体験・運転体験、馬路森林鉄道・インクライン乗車体験、曲げわっぱ体験、アロマクラフト体験、かなば編み体験、魚梁瀬千本山トレッキングガイド、魚梁瀬森林鉄道遺産巡りガイド、むらの案内人クラブ、安芸・室戸パシフィックライド、土佐の町家 ひなまつり

(別添) 様式 1

芸西村	芸西村文化資料館・筒井美術館、芸西天文学習館、伝承館、芸西村の家、お龍・君枝姉妹像、考える村、Kochi 黒潮カントリークラブ、琴ヶ浜かっぱ市	琴ヶ浜、メランジュ帯、末延家住宅、白玉糖製糖、まんじゅう笠、日本酒蔵、柚子	ブルースターハウス見学、フラワーアレンジメント体験、白下糖炊き上げ体験、観光地引網、村内ガイドと行く 芸西村あるき、琴ヶ浜松原観月の宴、琴ヶ浜竹灯りの宵、安芸・室戸パシフィックライド
-----	---	---------------------------------------	---

【宿泊施設：域内分布、施設数、収容力、施設規模等】

	宿泊施設数	客室数	収容人員
室戸市	4	81	272
安芸市	1	51	80
東洋町	3	54	145
奈半利町	1	51	86
田野町	0	0	0
安田町	0	0	0
北川村	1	14	46
馬路村	1	15	84
芸西村	1	195	600
合計	12	461	1,313

【利便性：区域までの交通、域内交通】

○区域までの交通

自動車	<ul style="list-style-type: none"> ・高知自動車道 南国 IC～(国道 32、55 号経由)～芸西村 (南国 IC～芸西村間 約 22km) ・徳島自動車道 徳島 IC～(国道 11、55 号経由)～東洋町 (徳島 IC～東洋町間 約 90km)
鉄道	<ul style="list-style-type: none"> ・土佐くろしお鉄道ごめん・なはり線 西分駅～奈半利駅 (JR 土讃線 後免駅より) ・阿佐海岸鉄道阿佐東線 甲浦駅 (JR 牟岐線 徳島駅より)
航空機	<ul style="list-style-type: none"> ・高知龍馬空港 (空港～芸西村間 約 15km) <p>東京 ⇄ 高知 大阪 ⇄ 高知 神戸 ⇄ 高知 名古屋 ⇄ 高知 福岡 ⇄ 高知</p>
高速バス	<ul style="list-style-type: none"> ・大阪 ⇄ 安芸 ・大阪 ⇄ 生見／室戸

(別添) 様式 1

<p>○域内交通</p> <p>・土佐くろしお鉄道ごめん・なはり線 ・高知東部交通 路線バス</p>
<p>【外国人観光客への対応】</p> <p>・多言語（英語・韓国語・中国語（繁体・簡体））のパンフレットを作成 ・インバウンド受入・接遇研修の実施や、ホームページ及び SNS の多言語表示対応</p>

3. 各種データ等の継続的な収集・分析

収集するデータ	収集の目的	収集方法
観光施設の入込客数	KPI として活用	各施設から定期的に回答
体験プログラムの入込客数	KPI として活用	各施設から定期的に回答
道の駅など直販所等の入込客数	KPI として活用	各施設から定期的に回答
宿泊施設の宿泊者数	KPI として活用	各施設から定期的に回答
旅行消費額	KPI として活用	「高知県県外観光客入込・動態調査(高知県)」を活用して実施。
来訪者満足度	KPI として活用	31 年度より、来訪者満足度調査を実施し、モニタリング
リピーター率	KPI として活用	31 年度より、来訪者満足度調査を実施し、モニタリング
WEB サイト分析	効果的なプロモーションへの活用	定期的にデータ収集

4. 戦略

(1) 地域の強みと弱み

	好影響	悪影響
内部環境	<p>強み (Strengths)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●自然や食の観光素材が多い <ul style="list-style-type: none"> ・海・川・山の自然が生活圏内にあり、それらを活用した体験プログラムと新鮮食材が豊富にある。 ●マリンスポーツや歴史等の資源の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・サーフィンやパドルボード等の海での体験プログラムが多いほか、岩崎彌太郎や中岡慎太郎等の歴史人物にゆかりのある場所が多い。 ●地域に対する愛着が強く、知識も深い <ul style="list-style-type: none"> ・長年住み続けている人が多いため、地元愛が強く、歴史や自然等に対する知識がとても深い。 ●温かい人柄とおもてなし <ul style="list-style-type: none"> ・高知県東部地域では、来客へのおもてなしの意識が強く、そのため観光客の評価が高い。 ●高知龍馬空港からの距離が近い <ul style="list-style-type: none"> ・就航都市からの誘客に有利である。 ●教育旅行の継続した受け入れ ●「むろと廃校水族館」平成 30 年 4 月新規オープン ●2019 年ポスト幕末維新博（仮称）開催に伴う、集客の効果 	<p>弱み (Weaknesses)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●宿泊施設および収容人員が少ない <ul style="list-style-type: none"> ・大規模収容の宿泊施設が少なく、小規模の宿泊施設が多い。また、施設数が少ないため、通過型の観光が多い。 ●観光・体験プログラム受け入れ体制の脆弱性 <ul style="list-style-type: none"> ・体験プログラムの多くは、当日受け入れができない。また、駐車場を含めて、大口団体に対応できない場合が多い。 ●儲けること、稼ぐことに消極的 <ul style="list-style-type: none"> ・おもてなしの風土が強く、儲ける意識が低いいため、儲けることに消極的である。 ●移動・周遊のための公共交通機関が少ない <ul style="list-style-type: none"> ・東部地域内を移動・周遊するための公共交通機関が限られており、運行便数も少ない。また、鉄道⇄路線バスへの乗り換えもしくは乗り継ぎが必要であり、運賃も割高。 ●インバウンド受入体制の遅れ <ul style="list-style-type: none"> ・インバウンド対策に必要な外国語表記への対応が遅れており、さらに Wi-Fi フリースポット及び洋式トイレの整備等が進んでいない状況。

(別添) 様式 1

<p>外部環境</p>	<p>機会 (Opportunity)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●2020 東京オリンピック開催による、インバウンド旅客の増加 ●地域博覧会での集客・情報発信 <ul style="list-style-type: none"> ・「志国高知幕末維新博 第二幕」の開催による集客効果及びメディア露出機会 UP。 ●連携するメリットへの理解 <ul style="list-style-type: none"> ・平成 27 年より毎年開催のサイクルイベント「安芸・室戸パシフィックライド」を通じて、市町村枠を超えた連携へのメリットを学ぶことができ、地域連携による観光商品づくり・イベント企画の機運が高まっている。 ●高知東部自動車道の延伸 <ul style="list-style-type: none"> ・高知自動車道から東部地域へのアクセス改善。 	<p>脅威 (Threat)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●他地域でのイベント開催 <ul style="list-style-type: none"> ・土佐れいほく博の開催 ●人口の減少 <ul style="list-style-type: none"> ・人口の社会減や若者の減少により、地域の活力が減少している。特に、伝統文化の喪失、体験プログラムインストラクターの減少が懸念される。 ●幕末維新博終了後の集客効果の減少 <ul style="list-style-type: none"> ・「志国高知幕末維新博 第二幕」終了に伴う集客効果の減少が見込まれる。
-------------	--	--

(2) ターゲット

<p>○ターゲット層 ～高知県へは旅行で訪れたことがあるが、ひがしこうちには訪れたことがない 情報取得感度・拡散力・購買意欲が高い、20代～40代女性のグループ～</p> <p>県外(できる限り遠距離から)で、日々の仕事に疲れ、特別なものはないところで、自然・景色・食・地元の人とのふれあいやおしゃべりを楽しみ、非日常感や癒しを味わい、ストレスを発散したい女性同士</p>
<p>○選定の理由</p> <p><1>高知県へ2回目以上の来訪者が多い 「ひがしこうちエリア」は、「桂浜」「ひろめ市場」等がある中央エリアと比較して、高知県に初めての来訪者より、2回目以上の来訪者の割合が高い</p> <p><2>20代～40代女性の参加者が多い 地域資源を活かした体験プログラムイベントを実施しているが、20代～40代女性の参加者が多い</p> <p><3>女性の満足度が高い 「ひがしこうちエリア」に来訪した方は、「総合的に」「食事」の満足度が特になくなってきている。男性よりも女性の方が満足度は高い。また、地域資源を活かした体験プログラムイベントにおいても、男性よりも女性の方が満足度は高い</p> <p><4>女性同士の旅行ニーズが一定の割合で存在している 「ひがしこうちエリア」に来訪した女性は、年齢が若くなるほど、友人・女性グループで旅行をする割合が増えている</p> <p><5>情報取得感度とクチコミによる拡散力が高い 「ひがしこうちエリア」に来訪した方の「情報入手方法」は、男性・女性ともに年齢が若いほど、「知人・友人の話から」の割合が高く、口コミに影響されている。20代男女は特にSNSの割合が高い</p>
<p>○ターゲット層エリア ～戦略エリア～：首都圏・関西・東海 ～戦略サブエリア～：四国(除く高知県)・中国</p>
<p>○選定の理由</p> <p><1>遠方から来るほど、滞在日数が長い</p>

<2>高知県へ県外から訪れている方は、宿泊客の割合の方が高い

高知県への県外からの来訪者を、発地別の高知県内旅行日数の割合を見ると、首都圏、東海、関西の順に旅行日数が多くなっている。また高知県への県外からの来訪者は、日帰り客(37.2%)より宿泊客(62.7%)の割合の方が高いため、「ひがしこうちエリア」に宿泊する可能性が高まり、観光消費額の増大が見込める

<3>利便性も高い

高知龍馬空港へは、羽田、小牧、伊丹、神戸、福岡の各空港から航空機が乗り入れている。成田、関西空港からはLCCも就航している。

○取組方針

「ひがしこうち」の大きな課題

魅力的な地域資源を有するが、観光で訪れる来訪者の大半は、「通過型」「イベント一過性型」「季節限定型」となっている。

「ひがしこうちエリア」には「体験」「食」「歴史」といった魅力的な地域資源も多く存在すること、通年を通じて楽しめる地域であることが、まだまだ知られていないとともに、滞在したくなる動機付けが弱くなっている

戦略のテーマとコンセプト

～ありのままの自然をブランドとして、

ひがしこうちの魅力発信による「誘客促進」「域内消費の最大化」～

1. ブランド構築
2. 認知度向上
3. 域内消費の増大
4. 来訪者満足度の向上
5. 連携強化

個別戦略① 「ひがしこうち」ならではの商品開発と品揃え強化

- (1) 着地体験プログラムサポート
- (2) 宿泊施設と連携・協働したプログラム開発サポート
 - ◆商品造成、磨き上げに対する助成制度で、開発面をサポート
 - ◆高知県が実施する、土佐の観光創生塾と連携
- (3) 周遊型旅行商品の造成・販売
 - ◆着地体験プログラム等で周遊する、テーマで広域を周遊する(日本遺産といったテーマ等)、旅行商品の開発販売
- (4) 特産品やグルメの開発サポート
 - ◆ひがしこうちならではの食材や産品を活かした商品開発サポート等

個別戦略② 「ひがしこうち」ならではの魅力的な情報提供力の強化

- (1) 公式ホームページの充実化
 - ◆魅力的な情報(=質)の収集
 - ◆情報、コンテンツ量の充実化
 - ◆ユーザーに必要な機能を適宜改修
- (2) 総合パンフレットの充実化
 - ◆発地、着地、教育旅行向けの3種類のパンフレット制作
- (3) 動画による情報提供
 - ◆テーマ別、ターゲット別での動画制作
- (4) 各拠点での情報提供
 - ◆9市町村の各拠点(道の駅等)で、ひがしこうち内の周遊を促す情報提供

個別戦略③ 誘客を促進するためのセールス・プロモーションの強化

- (1) 発地セールス (個人・団体)
 - ◆教育旅行を取り扱う旅行会社
 - ◆メディア系旅行会社
 - ◆オンライントラベルエージェント
 - ◆各種観光商談会参加
- (2) 発地プロモーション (個人)
 - ◆マスメディア、インターネット
 - ◆SNS、動画配信
 - ◆県外大規模イベントへ協賛
- (3) 着地セールス (個人・団体)
 - ◆交通機関
- (4) 着地プロモーション (個人)
 - ◆着地向けパンフレットの設置
- (5) リリース配信によるマスコミ活用
 - ◆セミナー開催等によるノウハウ取得
 - ◆イベントごとのリリース配信
- (6) インバウンド
 - ◆クルーズ船へのエクスカーション商品の造成・販売
 - ◆各種商談会への参加

個別戦略④ 消費を増やすための流通と販売の強化

- (1) 公式ホームページ上での旅行商品販売の仕組み構築
 - ◆宿泊、遊び体験、グルメ、ツアー等の大手プラットフォーム、サイトとの連携
- (2) 公式ホームページ上での物産品販売の仕組み構築
 - ◆大手流通プラットフォーム、サイトとの連携

個別戦略⑤ 受入・おもてなし受入体制の整備

- (1) 地域住民への観光による地域づくりへの理解促進
 - ◆主に若手事業経営者を集めた、将来のひがしこうちの未来を考えるためのセミナーやワークショップの開催等
- (2) 受入のワンストップ体制整備
 - ◆ひがしこうち地域の全情報を協議会に一元化できる仕組みの構築
- (3) 観光人材の育成
 - ◆高知県が実施する事業と連携し将来の観光を担う人材を育成
 - ◆ガイド人材の確保と育成
 - ◆観光関係者等に向けた、ひがしこうちの魅力を知る、モニターツアーの実施
- (4) インバウンド獲得に向けた取り組み
 - ◆インバウンド獲得に向けた、現状把握や受入に向けた課題等の整理

個別戦略⑥ 組織体制強化

- (1) マーケティング機能強化
 - ◆WEB サイト解析やアンケート等によりカスタマーとの接点を強化することで、データ分析に基づく戦略を推進し、満足度の向上と誘客の促進を図る仕組み構築
- (2) 9市町村との連携強化
 - ◆テーマ別のワーキンググループを、コアメンバーを対象に開催し、9市町村の横断的な観光連携を通じて、「地域課題を解決すること」「新たな地域ビジネスを創出すること」の両方を考え、情報共有のみならず、9市町村が連携して戦略を取り組む機会を創出。

(3) コンセプト

<p>①コンセプト</p>	<p><u><ビジョン></u> ～ 特別なものはないけれど 特別な時間が流れている ここは、ひがしこうち ～</p> <p><u><「ひがしこうち」のここにしかない価値とは></u> ～ 広大な山を背にした、どこまでも続く海岸線の景色、ありのままの自然 ～</p> <p><u><ミッション></u> ひがしこうちの強みである、ありのままの自然、景色を「観光」で活かします。「観光」を通じて地域資源・地域の人々とひがしこうちへ来訪する人々を繋ぎ、将来にわたって持続可能な観光地域づくりと地域の活性化のために、地域に必要とされる組織を目指します。</p>
<p>②コンセプトの考え方</p>	<p><u><ビジョンの考え方></u> 目立ったものはないけれども、大きな海、深い山、清い川、ありのままの自然を守り続け、地域の人々の温かい心を大切に、住む人、訪れる人が、ここにいれば、ここに来れば一息できる、ほっこりできる、笑顔になれる、そんなひがしこうちとして輝かせ、将来にわたって魅力的な地域づくりを目指していきます。</p> <p><u><ここにしかない価値の考え方></u> 森林率 84%を誇る海をつくっている森林、水平線だけしかない何もない海、永遠にどこまでも続く海岸線、ここにしかない、ここでしか見られない「ありのままの自然、景色」を、ひがしこうちのブランドとして浸透させていきます。</p> <p><u><ミッションの考え方></u> 設立当初からの基本理念を踏襲します。</p> <p><u><基本理念></u></p> <ol style="list-style-type: none">1. 戦略的な広報、PRによる「ひがしこうち」の魅力を発信2. 観光を通じた交流人口の拡大による、地域内の観光消費額を増大3. 観光産業等における雇用創出、地域経済の活性化、にぎわい化4. 地域住民が地域を誇り、地域愛を醸成5. 観光客、地域住民にも魅力的で持続可能な観光地域づくり

5. 関係者が実施する観光関連事業と戦略との整合性に関する調整・仕組み作り、プロモーション

項目	概要
戦略の多様な関係者との共有	マーケティング調査・分析結果に基づいた戦略を推進するために、9市町村・観光協会・地域内の事業者等と適宜情報を共有する場を設定し、連携して戦略推進に取り組む仕組みを構築している。
観光客に提供するサービスについて、維持・向上・評価する仕組みや体制の構築	9市町村・観光協会・地域内の事業者等が参加し、観光客に関する情報共有や受入課題等の検討をするために、観光クラスター会議・観光テーマ別ワーキンググループ等を実施している。さらに、外部講師（観光アドバイザー）を招聘したセミナー及びモニターツアーを開催し、人材育成及び滞在型・体験型観光商品の磨き上げも実施し、受入意識の改善、品質・サービス向上、やりがいを創出させている。 アンケート等によりカスタマーとの接点を強化することで、満足度・サービス向上を図る仕組み構築した。
一元的な情報発信・プロモーション	ホームページ及びSNSを活用し、地域内の観光・イベント情報等を一元的に発信・提供している。さらに効果的な情報発信をするために、総合パンフレットの見直し、PR動画等を活用してWEB・SNSを通じた効果的なプロモーションを実施している。

6. KPI（実績・目標）

（1）必須KPI

指標項目	単位	28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
●旅行消費額	千円	5,459,580 (実績)	5,427,100 (実績)	5,687,010 (実績)	6,017,730 (目標)	6,206,000 (目標)	6,382,930 (目標)
●延べ宿泊者数	人泊	138,600 (実績)	137,636 (実績)	142,741 (実績)	150,000 (目標)	155,000 (目標)	159,000 (目標)
●来訪者満足度	%	— (—)	— (—)	— (—)	90 (目標)	90 (目標)	90 (目標)
●リピーター率	%	— (—)	— (—)	— (—)	80 (目標)	80 (目標)	80 (目標)

※年次及び目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

(別添) 様式 1

【検討の経緯】

高知県東部広域観光振興中期（長期）計画及び第 3 期高知県産業振興計画により、平成 33 年度までの KPI を設定。

【設定にあたっての考え方】

●旅行消費額

高知県東部地域博覧会（「高知家・まるごと東部博」）が行われた平成 27 年実績を元に数値目標を設定。

●延べ宿泊者数

高知県東部地域博覧会（「高知家・まるごと東部博」）が行われた平成 27 年実績を元に数値目標を設定。

●来訪者満足度

令和元年度に実施している、高知県東部地域の観光に関するアンケート調査で、来訪者から収集したデータ（令和元年 8 月～令和 2 年 2 月）をもとに目標を設定。

●リピーター率

令和元年度に実施している、高知県東部地域の観光に関するアンケート調査で、来訪者から収集したデータ（令和元年 8 月～令和 2 年 2 月）をもとに目標を設定。

(2) その他の目標

指標項目	単位	28 年度	29 年度	30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
●観光施設、体験プログラム、直販所等の入込客数	千人	2,343 (実績)	2,330 (実績)	2,454 (実績)	2,606 (目標)	2,685 (目標)	2,765 (目標)

※項目及び年次・目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

【検討の経緯】

高知県東部広域観光振興中期（長期）計画及び第 3 期高知県産業振興計画により、平成 33 年度までの KPI を設定。

【設定にあたっての考え方】

●観光施設、体験プログラム、直販所等の入込客数

高知県東部地域博覧会（「高知家・まるごと東部博」）が行われた平成 27 年実績を元に数値目標を設定。

7. 活動に係る運営費の額及び調達方法の見通し

(1) 収入

年度	総収入 (円)	内訳
29 年度 (実績)	73,200,611 (円)	【高知県からの補助金】 24,904,000 (円) 【市町村からの負担金】 29,036,000 (円) 【安芸広域市町村圏事務組合からの補助金】 5,894,000 (円) 【事業収入】 12,621,458 (円) 【会費収入】 145,000 (円) 【負担金収入】 600,000 (円) 【受取利息】 153 (円)
30 年度 (実績)	78,750,504 (円)	【高知県からの補助金】 25,000,000 (円) 【市町村からの負担金】 30,708,000 (円) 【安芸広域市町村圏事務組合からの補助金】 5,709,000 (円) 【事業収入】 15,962,053 (円) 【会費収入】 175,000 (円) 【その他】 1,196,451 (円) (前年度繰越金・寄付金・物販・受取利息)
31 年度	67,717,000 (円)	【高知県からの補助金】 25,000,000 (円) 【市町村からの負担金】 29,337,000 (円) 【安芸広域市町村圏事務組合からの補助金】 4,400,000 (円) 【事業収入】 8,600,000 (円) 【会費収入】 180,000 (円) 【その他】 200,000 (円) (前年度繰越金)
32 年度	77,570,000 (円)	【高知県からの補助金】 25,000,000 (円) 【市町村からの負担金】 29,700,000 (円) 【安芸広域市町村圏事務組合からの補助金】 4,700,000 (円) 【事業収入】 18,000,000 (円) 【会費収入】 170,000 (円)
33 年度	75,230,000 (円)	【高知県からの補助金】 25,000,000 (円) 【市町村からの負担金】 30,500,000 (円) 【安芸広域市町村圏事務組合からの補助金】 5,050,000 (円) 【事業収入】 14,500,000 (円) 【会費収入】 180,000 (円)

(2) 支出

年度	総支出	内訳
29 年度	73,200,611 (円)	【企画統括事業】 2,020,300 (円) 【情報発信・セールス活動事業】 17,556,450 (円) 【広域関連事業】 5,809,525 (円) 【旅行商品事業】 2,598,493 (円) 【観光人材育成事業】 995,819 (円) 【事務所運営】 32,457,209 (円) 【旅行取扱事業】 11,667,210 (円) 【次期繰越金】 95,605 (円)

(別添) 様式 1

30 年度	78,750,504 (円)	【企画統括事業】 1,800,000 (円) 【情報発信・セールス活動事業】 20,672,367 (円) 【広域関連事業】 3,377,965 (円) 【旅行商品事業】 3,819,926 (円) 【観光人材育成事業】 1,395,720 (円) 【事務所運営】 31,712,501 (円) 【旅行取扱事業】 15,543,038 (円) 【次期繰越金】 428,987 (円)
31 年度	67,717,000 (円)	【企画統括事業】 1,800,000 (円) 【情報発信・セールス活動事業】 17,200,000 (円) 【広域関連事業】 2,800,000 (円) 【旅行商品事業】 5,000,000 (円) 【観光人材育成事業】 1,500,000 (円) 【事務所運営】 31,067,000 (円) 【その他】 8,350,000 (円)
32 年度	77,570,000 (円)	【企画統括事業】 1,800,000 (円) 【情報発信・セールス活動事業】 17,700,000 (円) 【広域関連事業】 2,300,000 (円) 【旅行商品事業】 4,200,000 (円) 【観光人材育成事業】 1,500,000 (円) 【事務所運営】 32,570,000 (円) 【その他】 17,500,000 (円)
33 年度	75,230,000 (円)	【企画統括事業】 1,800,000 (円) 【情報発信・セールス活動事業】 16,500,000 (円) 【広域関連事業】 3,500,000 (円) 【旅行商品事業】 6,000,000 (円) 【観光人材育成事業】 1,500,000 (円) 【事務所運営】 33,000,000 (円) 【その他】 12,930,000 (円)

(3) 自律的・継続的な活動に向けた運営資金確保の取組・方針

- ◆高知県からの補助金、および高知県東部地域 9 市町村からの負担金
(9 市町村連名の実施計画に基づき、地方創生推進交付金という安定的な収益を活用し、今後も当協議会において高知県東部 DMO 推進事業を平成 33 年度(令和 3 年度)にわたり安定的・継続的に執行していく)
- ◆旅行商品の販売による収益
- ◆会費収入

8. 日本版 DMO 形成・確立に対する関係都道府県・市町村の意見

高知県、室戸市、安芸市、東洋町、奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村、芸西村は、一般社団法人高知県東部観光協議会を当該地域における地域連携 DMO として登録したいので、一般社団法人高知県東部観光協議会とともに申請します。

9. 記入担当者連絡先

担当者氏名	種田 智加
担当部署名 (役職)	事務局長
所在地	高知県安芸市矢ノ丸 1-4-40
電話番号 (直通)	0887-34-0866
FAX 番号	0887-34-0865
E-mail	tobukochi@vesta.ocn.ne.jp

10. 関係する都道府県・市町村担当者連絡先

都道府県・市町村名	高知県
担当者氏名	別府 誠
担当部署名 (役職)	観光振興部地域観光課 課長
所在地	高知県高知市丸ノ内 1-2-20
電話番号 (直通)	088-823-9612
FAX 番号	088-823-9256
E-mail	020601@ken.pref.kochi.lg.jp

都道府県・市町村名	室戸市
担当者氏名	和田 庫治
担当部署名 (役職)	観光ジオパーク推進課 課長
所在地	高知県室戸市室戸岬町 1810-2
電話番号 (直通)	0887-22-5161
FAX 番号	0887-23-1618
E-mail	mr-010200@city.muroto.lg.jp

都道府県・市町村名	安芸市
担当者氏名	山崎 孝志
担当部署名 (役職)	商工観光水産課 課長
所在地	高知県安芸市矢ノ丸 1-4-40
電話番号 (直通)	0887-35-1011
FAX 番号	0887-35-8113
E-mail	syokou@city.aki.lg.jp

都道府県・市町村名	東洋町
担当者氏名	伊吹 真貴博
担当部署名 (役職)	産業建設課 課長
所在地	高知県安芸郡東洋町大字生見 758-3
電話番号 (直通)	0887-29-3395
FAX 番号	0887-29-3825
E-mail	sanken@town.toyo.kochi.lg.jp

都道府県・市町村名	奈半利町
担当者氏名	東野 浩好
担当部署名 (役職)	地域振興課 課長
所在地	高知県安芸郡奈半利町乙 1659-1
電話番号 (直通)	0887-38-8182
FAX 番号	0887-38-7788
E-mail	chikishinkou@town.nahari.kochi.lg.jp

(別添) 様式 1

都道府県・市町村名	田野町
担当者氏名	西山 周平
担当部署名(役職)	まちづくり推進課 課長
所在地	高知県安芸郡田野町 1828-5
電話番号(直通)	0887-38-2813
FAX 番号	0887-38-2044
E-mail	machidukuri@tanocho.lg.jp

都道府県・市町村名	安田町
担当者氏名	中川 剛
担当部署名(役職)	地域創生課 課長
所在地	高知県安芸郡安田町大字安田 1850
電話番号(直通)	0887-38-6713
FAX 番号	0887-38-6780
E-mail	sousei@town.kochi-yasuda.lg.jp

都道府県・市町村名	北川村
担当者氏名	三木 悌二
担当部署名(役職)	産業課 課長
所在地	高知県安芸郡北川村大字野友甲 1530
電話番号(直通)	0887-32-1221
FAX 番号	0887-32-1234
E-mail	sangyo@vill.kitagawa.kochi.lg.jp

都道府県・市町村名	馬路村
担当者氏名	諏訪 貴信
担当部署名(役職)	産業建設課 課長
所在地	高知県安芸郡馬路村大字馬路 443
電話番号(直通)	0887-44-2336
FAX 番号	0887-44-2779
E-mail	sanken@vill.umaji.kochi.lg.jp

都道府県・市町村名	芸西村
担当者氏名	恒石 浩良
担当部署名(役職)	企画振興課 課長
所在地	高知県安芸郡芸西村和食甲 1262
電話番号(直通)	0887-33-2114
FAX 番号	0887-33-4035
E-mail	kikaku@vill.geisei.lg.jp

【区域】高知県室戸市、安芸市、東洋町、奈半利町、
田野町、安田町、北川村、馬路村、芸西村

(表:実施体制)

(表:KPI(実績・目標))※()内は外国人に関するもの

【設立時期】平成28年2月26日

【代表者】代表理事 横山 幾夫

【マーケティング責任者】事務局長 種田 智加

【職員数】6人

【連携する主な事業者】体験事業者・観光事業者
宿泊事業者・農水商工関係・交通事業者

	29年度 (実績)	30年度 (実績)	令和1年度 (目標)	令和2年度 (目標)	令和3年度 (目標)
旅行消費額 (億円)	56.6 (-)	56.8 (-)	60.1 (-)	62.0 (-)	63.8 (-)
延べ宿泊者 数(人泊)	137,636 (-)	142,741 (-)	150,000 (-)	155,000 (-)	159,000 (-)
来訪者満足 度(%)	- (-)	- (-)	90 (-)	90 (-)	90 (-)
リピーター 率(%)	- (-)	- (-)	80 (-)	80 (-)	80 (-)

～ありのままの自然をブランドとして、
ひがしこうちの魅力発信による「誘客促進」「域内消費の最大化」～

1. ブランド構築

2. 認知度向上

3. 域内消費の増大

4. 来訪者満足度の向上

5. 連携強化

- (1) 着地体験プログラムサポート
- (2) 宿泊施設と連携・協働したプログラム開発サポート
- (3) 周遊型旅行商品の造成・販売
- (4) 特産品やグルメの開発サポート

- (1) 地域住民への観光による地域づくりへの理解促進
- (2) 受入のワンストップ体制整備
- (3) 観光人材の育成
- (4) インバウンド獲得に向けた取り組み

- (1) 公式ホームページの充実化
- (2) 総合パンフレットの充実化
- (3) 動画による情報提供
- (4) 各拠点での情報提供

- (1) 発地・着地セールス(個人・団体)
- (2) 発地・着地プロモーション(個人)
- (3) リリース配信によるマスコミ活用
- (4) インバウンド

- (1) 公式ホームページ上での旅行商品・物産品販売の仕組み構築

- (1) マーケティング機能強化
- (2) 9市町村との連携強化